



みやこ町では、学校給食で地産地消（地域でできたものを地域で食べる）に取り組んでいます。みやこ町でできている野菜を知り、味わって食べてください。みやこ町の農家の方などを知ってもらうために、地場産物だよりで紹介していきます。

しょうが栽培 林 佳祐 さん

はつちょうせん
初挑戦



しょうがを傷つけないため、周りの土をとり除き、優しく引き抜きます。

たね
種しょうがを

かぶ う
60株 植えました。

林さんのしょうが畑はどこ？
みやこ町犀川久富です。



おいしいしょうが作りのコツについて

里芋と同じ畑で栽培することです。しょうがは、日陰を好む野菜なので、里芋の間に植えています。里芋の葉が生い茂ると、株元付近が日陰になり、しょうがにとってほどよい日光量になります。また、里芋は水をとても好みますが、しょうがも多湿を好むため、ちょうどよい栽培環境となります。



しょうが作りの大変なこと

種しょうがを植えた後、黒いビニールシート（マルチ）で覆い成長させますが、しょうがの芽が出るタイミングを見極め、マルチに穴を開けることです。一つ一つ成長のスピードが違うので毎日の観察が欠かせません。



林さんから小学生や中学生のみなさんへのメッセージ

今まで苦手だった食べ物も、みなさんが成長するにつれ、食べてみるとそのおいしさがわかるようになります。楽しみながら、いろいろな食べ物にチャレンジしてください。